

校長あいさつ

飯野 幸和

本校では、『高い志を持ち、確かな学力を身につける生徒の育成』を目指し、教職員の指導力向上と生徒の「生きる力」の育成・「学力向上」に取り組んでまいります。そして「保護者や地域の方々から、信頼される大幡中」を創りあげます。

学校沿革の概要

昭和58年 4月 1日

熊谷市立大原中学校の通学区であった大字柿沼、原島、代、新島（大幡小学校の通学区）を分離して熊谷市立大幡中学校を設立し開校する。 初代校長 角田 真一

昭和58年 4月11日

校章制定

昭和58年 4月20日

制服制定

昭和58年 5月 2日

開校記念日として定める

昭和58年 6月10日

体育館、プール完成

昭和58年 6月15日

P T A創立総会

昭和58年 9月 6日

屋外球技場完成

昭和58年11月24日

竣工式

昭和59年 2月10日

校旗完成

昭和59年 2月10日

校歌制定(作詞・増田敏男 作曲・松本文男)

昭和59年 4月 6日

校歌碑建立

昭和61年11月18日

市教委委嘱同和教育研究委嘱発表(60, 61年度)

昭和62年 4月 1日

2代校長 岡部 弘行

昭和63年 6月28日

大里地区体育授業研究発表会

昭和63年11月29日

学習指導協力校発表（英語・数学）

平成元年 4月 1日

3代校長 蛭川 弘

平成 2年10月30日

大里地区進路指導（19ブロック）発表

平成 3年 5月14日

県立北教育センター研究委嘱（理科）

平成 3年 6月27日

修学旅行研究校委嘱（修学旅行会埼玉支部）

平成 3年11月13日

市教委委嘱学習指導研究委嘱発表（平成2・3年度）

平成 4年 4月 1日

4代校長 佐藤 恒夫

平成 5年 5月23日

PTA奉仕作業による植樹

平成 5年11月10日

開校10周年記念式典挙行(参加者231名)

平成 6年 4月 1日

制服制定

平成 7年 4月 1日

5代校長 小林 元治

平成 7年11月17日

市教委委嘱合同同和教育研究

平成 8年12月13日

大幡中学校区健全育成モデル地区活動推進の集い会場校

平成 9年 4月 1日

6代校長 高田 普通

平成11年 4月 1日

7代校長 廣瀬 正美

平成14年 4月 1日

8代校長 石井 康雄

平成15年11月 1日

市教委委嘱学習指導研究委嘱発表(平成14・15年度)

平成16年 4月 1日

二学期制実施

平成17年11月 9日

文科省道徳教育推進事業指定校研究発表(平成16・17年度)

平成18年 4月 1日

9代校長 高橋 清

平成18年11月 7日

埼玉県進路指導研究会委嘱 進路指導研究発表会

平成18年11月 8日

体育館アスベスト除去工事(～19.2.26完了)

平成22年 4月 1日

10代校長 瀧口 裕史

平成23年11月 5日

市教委委嘱 県道徳教育研究協力校研究発表(平成22・23年度)

平成24年11月25日

開校30周年記念式典

平成26年 4月 1日

11代校長 須藤 一郎

平成27年11月 7日

市教委委嘱学習指導研究委嘱発表(平成26・27年度)

平成29年 4月 1日

12代校長 飯野 幸和

平成29年11月22日

県教育局・学校給食会委嘱食育指導力向上研究発表

平成30年 3月 1日

南校舎屋上防水工事完了

熊谷市立大幡中学校の通学区であった大字柿沼、原島、代、新島（大幡小学校の通学区）を分離して熊谷市立大幡中学校を設立し開校する。 初代校長 角田 真一



学校教育目標

高い志を持ち、確かな学力を身につける生徒

○進んで学ぶ生徒

○思いやりのある生徒

○たくましい生徒

◎基礎的・基本的な力を確かに身につけ、主体的に学習に取り組む生徒

・生徒の『学力向上』を図るため、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践

・家庭学習 学年＋1時間以上の実施（50%以上）

・テレビ・パソコン等の時間（1時間以内＝40%以上）

・読書量の向上（50%以上増）

・英語ラウンドシステム制の考え方を全教科に周知。

・くまなびスクールでの学力向上

◎互いに認め合い、励まし合い、元気なあいさつをかわせる生徒

・朝のボランティア清掃(各部活動交代で、毎日)

・「大幡校区連絡会：植え付け、収穫祭」(年3回)

・「朝のあいさつ運動(生活委員、生徒会)」(月1回)

・「人権週間」の実施(年2回)

・インクルーシブ教育、特別支援教育の推進

◇大幡小中特別支援学級：交流会（年2回）

・道徳の見える化（全校一斉道徳の公開授業を実施・思いやりの心で人と接することのできる生徒の育成）

◎高い目標を持って、何事にも本気で取り組み、汗をかく生徒

・体力向上の推進◇新体力テスト◇

総合評価（C判定以上）＝75%達成

・健康教育の取組(HQCシートの取組)

◇朝ご飯をしっかりと食べる（100%）

・食育の推進・充実（栄養教諭による指導）年10回以上

・防災教育の推進（緊急地震速報による避難訓練）(竜巻・大雨・大雪等の自然災害に対する避難訓練）(小中合同避難訓練：年1回)

教育活動の見える化

保護者・地域に信頼される学校

1) 学校の教育活動を、生徒・保護者、地域に積極的に公開していく。

◇公開授業・学校行事

2) 職員研修を進め、その取組を公開する。

◇言語活動を重視した授業公開

3) 学校のホームページを更新し、教育活動を公開する。

◇多くの職員が更新に関わる

4) くまがやラグビーオリパラプロジェクトを推進し、カリキュラムを改善する。

5) 英語ラウンドシステムの充実・進化

チーム大幡

論より実践・行動・背中で教える

1) 信頼され地域に根ざした特色ある学校づくり（誰もが協力する職場に！）

2) 学校教育目標を達成することを念頭においた学校経営（率先垂範を大切にする職場に！）

3) 明るく、楽しく、活力があり、連帯感のある職場づくり（全員で取り組む職場に！）

◎是々非々で「すずめの学校」と「めだかの学校」のバランスを！

○誰にもわかる授業をし、確かな学力をつけます。

○徹底して「かまって」あげます。

○いざという時、全員で動きます。

○1秒でも早くプロの手へ渡します。

○報告・連絡・相談・見届けを確実に行います。

◇教師の目（隠れた空間）、耳（聴く力）＝アンテナを高く

◇教師の手（手段）、足（動く）＝行動

幼保・小中一貫教育！

大幡の子供を12年間で育てていく

◎幼保から小・中学校への教育活動の連携

◇学習規律の確立、基礎・基本の徹底

◎幼保小中の教職員による積極的な研修。

◇長期休業中の合同研修会の実施

◎基礎・基本的な学力の定着と、特別支援教育の充実。

◇連携個票の活用と生徒支援委員会

日課表

月	火水木金	
8:10～8:25	8:10～8:25	職員打合せ
8:25～8:35	8:25～8:35	朝読書
8:35～8:45	8:35～8:45	朝の会
8:50～9:40	8:50～9:40	第1校時
9:50～10:40	9:50～10:40	第2校時
10:50～11:40	10:50～11:40	第3校時
11:50～12:40	11:50～12:40	第4校時
12:40～13:20	12:40～13:20	給食
13:20～13:35	13:20～13:35	清掃
13:35～13:50	13:35～13:50	昼休み
13:55～14:45	13:55～14:45	第5校時
14:50～15:00		帰りの会(月)
	14:55～15:45	第6校時
	15:50～16:00	帰りの会

生徒数及び学級数

H30.5.1現在

学年	1年	2年	3年	合計
性別				
男子	44	63(1)	57	164
女子	48	38(1)	52	138
合計	92	101(2)	109	302
学級数	3	3	3	10

下校時刻

4. 1～ 9.14	18:00
9.18～ 新人戦	17:30
新人戦～ 中間前	17:30
中間後～12.24	16:45
1月	17:00
2月	17:15
3月	17:30

教育課程

年間授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	140	105	140	105	45	45	105	70	140	35	35	50	1015
2年	140	105	105	140	35	35	105	70	140	35	35	70	1015
3年	105	140	140	140	35	35	105	35	140	35	35	70	1015

年間行事計画

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
前期始業式 入学式 迎える会 身体測定 離任式 耳鼻科検診 心臓・内科検診 調査 県学力学習状況調査 全国学力学習状況調査 授業参観 PTA総会 開校記念日 赤城林間1年合同防災訓練 資源回収 生徒総会 家庭訪問 名栗林間2年前期中間テスト 前期教育実習 体育祭 3年修学旅行 成績市予選 成績銀杏通知① 教育相談 職場体験 小中合同研修 P奉仕作業 授業開始 資源回収 前期期末テスト 新人市予選 成績銀杏通知② 後期始業式 後期終業式 銀杏祭 市内音楽会 資源回収Ⅲ 生徒会役員選挙 ブラネタリウム 資源回収 教育相談 後期中間テスト 成績銀杏通知③ 冬休み 防災訓練 私立高校入試 新入生説明会 後期期末テスト 公立高校入試 卒業式 修了式 成績銀杏通知④											

教育環境

一きれいで、静かな学校一

○「生きた掲示（見る視点が示された掲示）」

「動く掲示（新鮮な掲示）」にします。

○教職員は、穏やかで、丁寧な言葉遣いをし、適切な言語環境をつくります。